

2026年7月31日

各 位

会社名 株 式 会 社 ニ チ リ ョ ク
代表者 代表取締役社長 渡邊 将志
(コード番号 7578)
問合せ先責任者 取締役経営統括本部長 服部 聡昌
(TEL 03-6281-8470)

資金使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ

当社は、2026年7月31日開催の取締役会において、2026年4月16日付「第3回新株予約権（行使価額修正条項付）の取得及び消却、第三者割当による新株式、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債、第2回無担保転換社債型新株予約権付社債（転換価額修正条項付）及び第4回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行、業務資本提携に関する契約の締結並びに親会社の異動に関するお知らせ」（以下、本件お知らせといいます。）にて開示しました第4回新株予約権（行使価額修正条項付）の行使により調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期について、下記のとおり一部変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、本件お知らせに記載のとおり、第4回新株予約権の発行により、成長投資及び財務基盤の強化に必要な資金を調達することとしております。今般、調達資金の充当方法について改めて検討した結果、財務基盤の早期安定化及び有利子負債全体の適切なマネジメントの観点から、借入金返済に充当予定としていた資金について、無担保普通社債の償還を含めて充当することが適切であると判断いたしました。これに伴い、資金使途及び支出予定時期を変更するものであります。

今後も営業活動から創出されるキャッシュ・フローを原資として有利子負債の圧縮を進める方針に変更はありません。

2. 変更の内容

(1) 新株予約権の行使により調達する資金の具体的な使途（本件開示 14ページ）

【訂正前】

<本新株予約権の行使により調達する資金の具体的な使途>

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① M&Aによる株式取得	361	2026年10月～2028年3月
② 新規小規模葬祭会館への内外装工事	200	2026年10月～2028年12月
③ 借入金返済	1,000	<u>2028年4月～2028年12月</u>
④ マーケティング費用	100	2026年6月～2027年3月
⑤ システム投資	20	2026年8月～2026年12月
⑥ システム投資	80	2028年4月～2028年12月
合計	1,761	—

※下線は変更箇所です。

【訂正後】

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① M&Aによる株式取得	361	2026年10月～2028年3月
② 新規小規模葬祭会館への内外装工事	200	2026年10月～2028年12月
③ 借入金返済	1,000	<u>2026年8月～2029年5月</u>
④ マーケティング費用	100	2026年6月～2027年3月
⑤ システム投資	20	2026年8月～2026年12月
⑥ システム投資	80	2028年4月～2028年12月
合計	1,761	—

※下線は変更箇所です。

(2) ③ 借入金返済（本件お知らせ 18 ページ）

【訂正前】

本新株予約権の行使により調達する手取金につきましては、当社の有利子負債圧縮及び財務体質の改善を目的として、借入金の返済に充当する予定であります。具体的には、2020年10月30日付で当社が公表した「シンジケートローン契約締結及び実行に関するお知らせ」に記載のシンジケートローンの残債の返済に最大10億円を上限として充当することを想定しております。

【訂正後】

本新株予約権の行使により調達する手取金につきましては、当社の有利子負債圧縮及び財務体質の改善を目的として、借入金の返済に充当する予定であります。具体的には、2020年10月30日付で当社が公表した「シンジケートローン契約締結及び実行に関するお知らせ」に記載のシンジケートローンの残債の返済及び無担保普通社債の償還に最大10億円を上限として充当することを想定しております。

3. 業績への影響

本件が当期の業績に与える影響は現在精査中であり、今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上